

リスクアセスメント実施一覧表

売場・担当	リスク評価実施日	措置後のリスク評価実施日・実施者
〇〇担当	〇月〇日	〇月〇日 ■■

内容を確認

店長	副店長	チーフ	担当
押印	押印	押印	

アルバイトらを含めて持ち場の担当全員での実施が望ましい。

NO	作業名	労働災害に至るプロセス (記入要領：～なので、～して、～(ケガの内容)になる)	リスク評価(現状)					リスク低減措置	措置後のリスク評価(予測)					措置実施日	改善に当たり考慮すべき事項
			危険状態が生じる頻度	ケガに至る可能性	ケガの重大性	リスクポイント	リスクレベル		危険状態が生じる頻度	ケガに至る可能性	ケガの重大性	リスクポイント	リスクレベル		
		壁に掛けてあるレードル(お玉)を取ろうとして、フライヤーの上から手を伸ばし、腕に付着していた水が落ちて油が跳ね、手を火傷する	4	4	3	11	III	レードル(お玉)を取る時にフライヤーの上を手が通らない場所に置く	1	4	3	8	III		
		商品を取りに行く途中、冷蔵ショーケースからの水漏れで通路が濡れているのに気づかず、すべって転倒し、腰を強打し骨折する	2	4	6	12	IV	水漏れ時に吸水するマットを設置する	1	1	3	5	II		
	実施例のため、特定の作業、売場を想定したものではなく、様々な場面を想定しています。	荷(5kg)を運搬中に、バックヤードの段差に気づかずつまづき、荷が落下しそうになり、慌てて荷を押さえた際に、荷と床の間に指がはさまれる	4	2	3	9	III	段差をスロープに改修する	1	2	3	6	II		マットにより多少ケガの重大性が下がると想定
		2m上の棚の荷物を取ろうとして脚立を使用中に後ろによるけて転落、頭を強打する	2	2	10	14	IV	棚の高さを1.5m未満とし脚立を使用しないでも荷物を取れるようにする	-	-	-	-	-		リスク低減対策により、リスク評価の対象となる作業がなくなった。なお、新たな作業方法による新たなリスクの発生については、別途、検討する必要がある。
		冷凍庫に品物を取りに行く途中、凍った床に気づかず、小走りで行ったため、足をすべらせて転び、腰を強打し骨折する	4	2	6	12	IV	冷凍庫に行く通路の空調を管理し、湿度と室温を一定にする	4	1	6	11	III		
		狭いサービスカウンター内で、重い荷物を無理な姿勢で持とうとして、腰を痛める	2	2	3	7	II	サービスカウンター内ではなく、別の広い場所に置き場所を設けて、その場所で作業する	1	2	3	6	II		
なお、管理的対策(ルール変更等)は、それが守られるか従業員に依存し、守られなかった場合は何らのリスク低減効果もない。よって、労働災害のリスクは残されていると考え、リスク評価は変えないことがおすすめ。															

危険状態が生じる頻度 頻繁:4点、ときどき:2点、めったにない:1点  
 ケガに至る可能性 確実である:6点、可能性が高い:4点、可能性がある:2点、可能性がほとんどない:1点  
 ケガの重大性 致命傷:10点、重傷:6点、軽傷:3点、微傷:1点

リスクレベル	リスクポイント	リスクの内容	リスク低減措置の進め方
IV	12~20	安全衛生上の重大な問題がある	直ちに中止または改善する リスク低減措置を直ちに行う
III	8~11	安全衛生上問題がある	低減措置を速やかに行う
II	5~7	安全衛生上多少の問題がある	低減措置を計画的に行う
I	3~4	安全衛生上の問題はほとんどない	費用対効果を考慮して低減措置を行う